

■ イベント開催状況

'14 男女共同参画市民フォーラムinいわみざわ

『みんなで創る明日の故郷』

平成26年10月4日(土) 岩見沢平安閣において、「いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議」の主催により、男女共同参画市民フォーラムが開催されました。

本年度は、音楽家・作家・元 埼玉県教育委員長の松居 和(まつい かず)先生を講師にお迎えし、男女共同参画の視点から見る子育てのお話をいただきました。

講演の前には、北海道教育大学岩見沢校の学生4名によるオープニングコンサートを行いました。

■ オープニングコンサート

北海道教育大学岩見沢校の学生、藤本 真依子さん、安井 萌さん、山本 彩加さん、木下 祐菜さんの4名によるサクソフォン四重奏コンサートを行いました。

四重奏の奥行きのあるメロディで「ジブリメドレー」「カーペンターズメドレー」「サクソフォン四重奏曲」より「第2楽章」「第4楽章」の全4曲を演奏していただき、華やかな開会となりました。



■ 講演「子育てが育む絆～幼児が親心を育て、社会に信頼関係が生まれる～」



◆ 日本の子育てを守るために

尺八奏者としてアメリカ映画に多数参加され、埼玉県教育委員長としてもご活躍された松居 和さんをお招きしました。

松居先生は、アメリカでお仕事をされる上で現地の家庭の崩壊、教育の危機を目の当たりにし、欧米化が進む日本社会へ警鐘を鳴らすため、全国各地で親心の大切さを説く講演会活動をされています。

◆ 子を育てることが、親も育てる

松居先生は、人は、幼児という絶対的弱者とつきあうことによって優しさを身につけ、競争に基づかない幸福感を学び親が親らしくなっていくというプロセスが人間社会を守ってきたと語られました。

ところが、今、親が子どもたちと過ごす時間が減り、子育てに無関心だったり自信を持てず、保育所や幼稚園に依存する親が増えているとのこと。子育ては、子どもを育てる以上に親を育てる、「親心」を培う大切な儀式です。しかし、親が束縛や犠牲を嫌い、「個性」の名のもとに自分勝手に生き始め、人間社会に秩序やモラルを生み出してきた親心が失われつつあるとのこと。

このように、子どもたちを取り巻く問題の根底には、社会に親心が育たなくなってきたことを挙げられました。親が保育を「当たり前権利」とするのではなく、感謝の心と、子どもを通じた周りとの信頼関係を育むことで、人間の「子育て」という幸福を支えた本来の流れを取り戻せる、と力強くお話を結ばれました。



☆フォーラム参加者の声

- いろいろ考えさせられる話で体にしみました。考え方を、また物の見方を考えるきっかけになりました。ありがとうございました。ユーモアをまじえた熱弁にひかれました。【70代以上女性】
- 自分に子どもがいること、生まれてきてくれたことに感謝したいと思います。心がほぐれる講演ありがとうございました。【40代女性】
- 幅広い見識と早口の講演が退屈さを感じなかった。【70代以上男性】
- 初めての感覚で話を聞くことができました。ありがとうございました。これからの岩見沢のまちづくりに女性の活力を生かすように…期待しています。【70代以上男性】
- 参加してよかった。内容がすばらしく、ずっと以前からの噂以上の良きお話でした。若い女性～ママさんたちにもっと聞いてほしいです。【60代女性】
- 普段保育園児と接することが出来る私は何と幸福な人間なんでしょう、あらためて感じました。【50代女性】

